

「令和5年度 旗振り誘導講習会」報告書

校外指導委員会

令和5年5月16日に都筑公会堂にて行われた「旗振り誘導講習会」に参加しました。

講習に参加し、旗振り誘導の必要性・こどもの視界や行動の特性・旗振り誘導の仕方など、初めて知ったことや再確認した事があり、大変勉強になりました。

講習会の内容を簡単に纏めましたので、ぜひお子様やご家族の方と一緒に確認していただけたらと思います。

①小学生の事故の特徴について

- ・市内の小学生の年齢別事故割合で、一番多いのが6歳から7歳。特に「魔の7歳」といわれる年齢が一番多い。
 - ・市内の小学生の学年別歩行中の事故件数では、6年生の43件と比べ、1年生は167件と約4倍も多い事。
 - ・市内の小学生の主な事故原因で最も多いのは、「飛び出し」による事故(236件)。全体の7割近くを占める。
- 上記以外でも自転車での事故など様々な要因がありましたが、歩行中の事故が一番多く、旗振り誘導の必要性を改めて感じました。ご家庭では、お子様と一緒に登下校中のルールや、危険箇所の確認をしてほしいと思います。

②こどもの特性

- ・こどもの視野(視界)は狭く、こどもが見えている視野(視界)は大人の半分程度です。(上下の視野→70°、左右の視野は90°程度しか見えていないとのことでした。)
- ・物事に一点集中しがちになる。視野が狭いことに加え、周りが見えていない事が多いため、左右の確認を怠り、事故に合ってしまう事が多い様です。
- ・こどもは感情のコントロールが不得意。親に怒られた・学校で悲しい事があったなどで、感情が左右されてしまうのもこどもの特徴。そのために、周りがよく見えなくなってしまいます。
- ・速度判断が苦手。特に低学年のこどもは、車の速度判断ができないので、横断歩道を渡るときは車が来ているかをしっかりと確認し、無理に渡ってはいけように指導するとよいです。
- ・善悪関係なく、大人の行動を模倣して行動してしまう。良い事・悪い事の判断をせず、大人の真似をするのがこどもです。交通ルールも、大人の真似をしている事を忘れないでください。

③旗振り誘導の方法について

- ・旗振りの目的は、こどもが「止まる」・「待つ」・「自分で安全確認を行う」を教える事です。
 - ・こどもの安全を守るのはもちろんですが、大人が自分の身も守る事も大切です。車を止める際には誘導中も含めて車道には出ないように気をつけてください。(バイクや自転車が突然くる時もあります！)
 - ・目立つ色の服装であったり、反射板を身に着けたりと、運転手さんに気づいてもらう事も大切です。また、雨天の際は、傘を差しながらでは両手が使えないため、レインコートを着て旗振り誘導する様にしてください。
 - ・車は速度によって、止まれるまでの距離が大きく変わります。運転手さんに対しても、余裕のあるタイミングで旗振りをすることが大切。(車は急には止まれません！！)
- また、止まってくださった運転手さんへ会釈するなど、感謝の気持ちを伝えることも大切ことだと思います。



■ はたふり誘導の前にもう一度服装チェック！！

「通学路 はたふり誘導ハンドブック」

横浜市で配付しているハンドブックには、はたふり誘導の仕方や、はたふり誘導での大切な事がたくさん書いてあります。今回の講習会でも使われた冊子です。

二次元コードはこちら ▶



④最後に

こどもは、大人が思っている以上に視野（視界）が狭く、一つの物事に集中してしまう事で、歩行中の事故に合いやすくなってしまいう事がわかりました。この事を理解しておくことで、より安全な旗振り誘導できると思います。また、こどもの危険感知能力を高めてあげることの必要性も感じました。

横断歩道手前で歩行者がいる際の停止率は、全国で約40%と低く、神奈川県では34.3%しかありません。

「車は必ず止まってくれる」ではなく、「車は止まってくれない」と、子ども達にも理解させていく事が必要とのことでした。

保護者の皆様も車の運転をする際は、今まで以上に子ども達や歩行者に注意していただければと思います。

最後に、旗振りの仕方について分かりやすくまとめた動画と、こども・交通事故データマップを見ることができます。

特に、こども・交通事故データマップは、市内全域で起きた小学生・中学生の交通事故の発生場所や、事故の概要をGoogleマップ（マイマップ機能）で確認することのできるマップです。

保護者の皆さまも、自宅の近くや、子ども達の通学路・学校の周辺など、日頃から通る道路で事故が起きてないかみることもできますので、是非活用してみてください。



「横断旗」の使い方、服装や注意点をまとめた動画です。ぜひご覧ください！

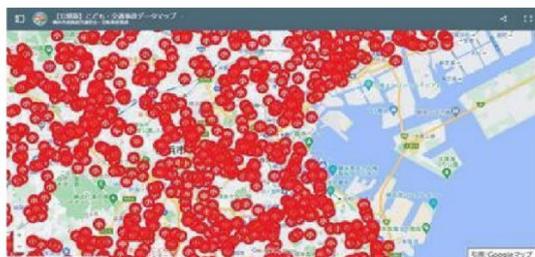


詳しくはこちら

■ こども・交通事故データマップ

市内における小学生・中学生が関係した人身交通事故の発生場所や事故の概要をGoogleマップ（マイマップ機能）で確認することができます。

下記のリンク・二次元コードよりご利用ください。



こども・交通事故データマップイメージ



□ こども・交通事故データマップ（2017～2021年）（外部サイト）

マップの特徴

- 市内全域の小学生・中学生の交通事故の発生場所や事故の概要をGoogleマップ（マイマップ機能）で確認できます。
- 地図上のアイコンをクリックすると交通事故の概要が表示されます。
- 交通事故箇所をGoogleストリートビューでも見ることができます。
- 神奈川県警察より提供された交通事故データ（2017年から2021年までの5年間）をもとに作成しています。